○リフキシマ錠　［内］

【重要度】　【一般製剤名】リファキシミン　Rifaximin　【分類】リファマイシン系抗菌薬［高アンモニア血症治療薬］
【単位】○200mg/錠
【常用量】1回400mg，1日3回
【用法】1日3回食後［原則12週間まで］
【透析患者への投与方法】常用量（5）1200mg/日で肝性脳症に有効（野田竜之介，他: 透析会誌 54: 591-596, 2021）
【保存期CKD患者への投与方法】常用量（5）
【その他の報告】アミノグリコシドが選択できない場合や腎機能障害合併時の肝性脳症治療の選択肢（Miglio F, et al: Curr Med Res Opin 1997 PMID: 9327194）
【特徴】難吸収性のリファマイシン系抗菌薬．肝性脳症における高アンモニア血症の改善に適用される．
【主な副作用・毒性】偽膜性大腸炎，発疹，下痢，便秘，悪心，めまい，味覚異常，高血圧，動悸など．尿が橙赤色を呈することがある
【安全性に関する情報】好中球減少の症例報告（Hynicka LM, et al: Am J Health Syst Pharm 2012 PMID: 22441789）
【吸収】結晶構造よりアモルファス構造で吸収率が高い（Blandizzi C, et al: Drug Des Devel Ther 2014 PMID: 25565769）
【F】ほとんど吸収されない（1）
【tmax】1～2hr（1）
【代謝】CYP3A4で代謝（1）
【排泄】尿中回収率0.32%［po，48hrまで］，尿中未変化体排泄率0.1%以下［po］（1）尿中未変化体排泄率0.01%未満［po，48hrまで］（Descombe JJ, et al: Int J Clin Pharmacol Res 1994 PMID: 7836025）
【CL/F】ほとんど吸収されないが，計算上CL/F=48586L/hr　（1）
【t1/2】3～6hr（1）
【蛋白結合率】67.5%，肝硬変患者で62%（1）
【Vd】資料なし（1）
【MW】785.88
【透析性】資料なし（1）
【薬物動態】800mg/日を3日間服用時の糞便中濃度は7.96μg/g（Jiang ZD, et al: Antimicrob Agents Chemother 44: 2205-6, 2000 PMID: 10898704）
【O/W係数】資料なし（1）
【相互作用】CYP3A4を誘導，OATP1A2，1B1，1B3の基質かつ阻害剤（1）シクロスポリンがP-gp，CYP3A4，OATPを阻害し，本剤の血中濃度上昇（1）CYP3A4の基質である経口避妊薬のPKに影響しなかった（Trapnell CB, et al: Ann Pharmacother 2007 PMID: 17284510）経口および静注ミダゾラムのPKに影響しなかった（Pentikis HS, et al: Pharmacotherapy 2007 PMID: 17896891）
【小児CKD患者における報告】安全性未確立（1）
【妊婦・授乳婦への投薬】妊婦には有益性投与，授乳は避ける（1）
【主な臨床報告】小腸の細菌増殖抑制効果はメトロニダゾールに劣る（Di Stefano M, et al: Aliment Pharmacol Ther 2005 PMID: 15813834）
腸内細菌がアンモニアや内因性ベンゾジアゼピン様物質の産生に関与しているため，非吸収性抗生物質の適用は肝性脳症治療に有用である（Zeneroli ML, et al: Chemotherapy 2005 PMID: 15855752）
旅行者下痢症の予防効果がある（DuPont HL, et al: Ann Intern Med 2005 PMID: 15897530）
赤痢患者でもPKに変化なし（Taylor DN, et al: Antimicrob Agents Chemother 2008 PMID: 18086855）
肝性脳症の頻度を減らし，効果は2.5年まで認められた（Scott LJ: Drugs 2014 PMID: 25352391）
小腸の細菌増殖に対しても有効［メタ解析］（Wang J, et al: Expert Rev Gastroenterol Hepatol 2021 PMID: 34767484）
肝性脳症や代償性肝硬変患者の感染症を減らす効果がある（Idalsoaga F, et al: Therap Adv Gastroenterol 2024 PMID: 38812703）
ラクツロース単独よりもリファキシミン併用で肝性脳症の再発を減らす（Sanyal AJ, et al: Hepatol Commun 2024 PMID: 38727685）
【更新日】20241031

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。